

主な質疑（事前にいただいた質問への回答（分類ごとに口頭で説明））

1 通学に関すること（通学距離・スクールバス・安全対策等）

質問の概要	回答
不審者が多いこと、近年は猛暑なこともあり長時間を徒歩で通学することに不安。統合に伴い通学時間が長くなる生徒への対応策をしっかりとっていただきたい。	通学の安全対策等につきましては、統合準備委員会で協議し、子どもたちが安全に通学できるよう検討を進めてまいります。また、交通安全（母）の会やコミュニティ等と連携を図り、通学路の見守り活動を確保してまいります。
統合に伴い長距離通学となる生徒のため、スクールバスの運行を検討してほしい。	学校再編計画では、統合に伴い通学距離が一定以上に延伸し、徒歩や自転車による通学が困難になった場合や、通学上の安全確保に必要が生じた場合は、学校、保護者、地域、路線バス事業者を含めた関係機関等との協議の上、公共交通機関の活用策を検討することとなっています。具体的な通学方法につきましては、統合準備委員会において協議してまいります。
自転車通学を認めてほしい。	自転車通学につきましては、通学路の安全を確認の上、中学校の校長先生が許可を出すこととなっておりますので、統合に向けた協議を進めていく中で検討してまいります。
自転車専用道路の整備やBRTの延線を検討してほしい。	今回いただいたご意見は、安全な通学路確保という観点から、市の担当課と連携を図り協議をしてまいります。

2 学校再編計画の見直し

質問の概要	回答
現在の学校再編計画を見て家を建てた。今後、計画が変わることに不安。	学校再編計画は令和3年の策定当初から、児童生徒数の推移などを踏まえて3年程度を目安に再編の進捗を検証し、計画の見直しを行うこととしているため、本年5月に学校再編計画改定検討委員会を設置し協議を進めているところです。今回、計画を見直した理由としましては、現在、本市では、BRT沿線区域で住宅開発が推進されており、大沼学区の児童数が計画策定時の推計に比べて増えていることや、小中学校の円滑な接続を推進する観点から、小学校の学区を分割する統合について検討を進めております。 学校再編計画は、長期的な視点に立つものであると同時に、児童生徒数の推移などを踏まえ見直すことが当初から定められておりますので、ご理解をいただけるよう丁寧な説明に努めてまいります。
今回の改定方針で、河原子中と泉丘中の統合を白紙にもどしたのはなぜか。	計画を白紙に戻したというわけではなく、学校再編計画は令和3年の策定当初から、児童生徒数の推移などを踏まえて3年程度を目安に再編の進捗を検証し、計画の見直しを行うこととしているため、本年5月に学校再編計画改定検討委員会を設置し、見直しを検討しているところでございます。計画を見直す理由といたしましては、計画策定時の推計と比較して、市の宅地創出事業の成果などにより、特に大沼小学校区の児童数が想定を上回ったことです。大沼小学校敷地への中学校の新設は、大沼小を存続した場合、物理的にできなくなることから、当初計画の前提であった「大沼小学校の学区を分割して統合する」ことや、「その跡地に河原子中学校と泉丘中学校の統合校を新設する」ことが、現実的に困難であると考えております。
現在の計画では、多賀南のエリア（河原子中、泉丘中、台原中の）を統合を計画していたが、急に多賀北のエリア（大久保中）との統合案としたのはなぜか。	現在の計画では、多賀南エリアの学校再編を軸に検討しておりましたが、その前提であった大沼小学校跡地への統合校新設が今回、計画の見直しを検討している中で困難であることから、統合の枠組みを改めて検討する必要が生じました。検討委員会での協議を踏まえ、中学校の適正な規模を維持するため、河原子中学校は比較的距離の近い大久保中学校に統合する案としました。
今回の検討方針（案）の内容について、河原子学区コミュニティ推進会の会長や副会長など地域を代表する方々との話し合いをもとにすすめられたのか。	今回の計画を改定する検討方針（案）は、学校再編計画改定検討委員会で協議を行っているものです。検討委員会には、学校長会やPTA連合会などの学校関係者に加え、地域住民の代表として、日立市コミュニティ推進協議会から推薦された方々にも委員として参加していただき、ご意見をいただきながら検討を進めています。

3 河原子地区から泉丘中学校への通学

質問の概要	回答
泉丘中学校であればBRTを利用しての通学も検討ができ親としても安心して通学させることができる。大久保中学校か泉丘中学校が選択できるようにするのはどうか。	今回、河原子中学校の統合先を大久保中学校とする検討方針（案）をご提示しましたが、通学の安全性を考慮し、河原子地区から泉丘中学校にも通学できるよう、柔軟な運用をしてまいりたいと考えております。具体的な通学方法につきましては、統合準備委員会において協議してまいります。

4 河原子小学校の学級編制

質問の概要	回答
今後、河原子小への入学者数がさらに減り、クラス替えができないことに不安。	現在、河原子小学校は小規模校ではありますが、子どもたち一人ひとりの成長を学校全体で見守るような環境にあるとも言えます。今後も子どもたちが少しでも安心して学校生活を送れるよう、学校と連携を図りながら、配慮をしてまいります。

5 河原子小学校の施設（修繕・駐車場等）

質問の概要	回答
河原子小学校の雨漏りは修繕してくれるのか。また、駐車場が少なく、児童クラブ送迎時に車を停めづらい。	河原子小学校校舎の雨漏りをはじめ、施設の不具合につきましては、施設所管課と情報を共有し必要な整備を行ってまいります。なお、雨漏りにつきましては、今年の春に修繕を行っています。また、駐車場が少ないことや、児童クラブの迎えの際車が停めづらいことにつきましては、今回いただいた意見を学校や児童クラブ担当課と連携して協議してまいります。

6 説明会の位置付け

質問の概要	回答
今回の説明会は、計画改定の決定案か検討案のどちらを示すものなのか。	今回の説明会は、あくまで「案」の段階のものをご説明し、皆様からのご意見を直接伺いするために開催いたしました。「決定した内容」ではありませんので、皆様からいただいたご意見等を踏まえ、今後開催する検討委員会で協議を重ね、最終的な改定案を今年度中に取りまとめてまいります。

主な質疑（出席者からの質問に対する回答）

NO.	質問の概要	回答
1	<通学の安全性等> 統合に伴い、河原子学区から大久保中学校に通学させるとなった場合、国道6号を横断させることは危険であり不安だ。	通学の安全性等につきましては、統合準備委員会において協議を行います。市内のほかの小中学校において、国道6号を横断して通学している実例を示ししながら検討していきます。 【参考】 住民説明会后に、国道6号を横断する次の通学路について、特に事故等は発生していないことを記載の小中学校に確認しました。 <塙山小学校> 塙山十字路（ココス多賀店付近） <大久保小学校> 常陸多賀駅入口交差点（川島クリニック付近） <大久保中学校> ①多賀町交差点（松屋付近）②桜川交差点（トヨタカラーラ付近）③常陸多賀駅入口交差点（川島クリニック付近）④大久保町1丁目交差点（シェープラザ日立店付近） <十王中学校> 自転車通学者が国道6号等の横断歩道を横断する際は、自転車から降りて手押しで横断している。
2	<河原子中学校の統合先> 河原子中学校の統合先として多賀中学校は検討したのか。	河原子中学校の統合先につきましては、様々なケースを想定し通学距離や子どもたちが通いやすい場所にあるかという点を重視しました。大久保中学校は、比較的施設が新しく、部活動の種類が多い点などを踏まえ、学校再編計画改定検討委員会で協議した内容として、統合校の案として提案しました。
3	<統合時期> 河原子中学校が大久保中学校と統合するとなった場合、いつごろの統合を見込んでいるのか。	今年度内に計画が改定されると仮定した場合、これまでの中学校の統合実績（統合準備委員会の設置から開校まで3年程度）から、令和11年度になると考えています。
4	<部活動の地域移行> 今後の部活動の地域移行を踏まえ、中学校の統合をどのように考えているのか。	部活動の地域移行につきましては、土日の移行について進めています。平日は、当面、学校で部活動を行っている状況を踏まえ、生徒が部活動を選択できるような学校再編を進めていくことが重要であると考えています。
5	<今後の進め方> 現在の計画では、後期計画で大久保中学校は多賀中学校と統合することとなっているが、今回の河原子中学校と大久保中学校との統合（案）を踏まえ、どのように考えているのか。	大久保中学校と多賀中学校との統合につきましては、後期計画で検討していくとなっています。今回、前期計画の見直しを行っている中で、河原子中学校と大久保中学校が統合することとなった場合は、その点を踏まえ、大久保中学校と多賀中学校との統合について、後期計画で改めて見直す必要があると考えています。学校再編計画は、定期的に見直しを行いながら、子どもたちの学習環境を維持できるよう検討を進めることとなっています。